

病院統合再編 4月1日の開院に向け準備が進んでいます

●お問い合わせ／市企画調整課企画調整係 ☎26-5704

2月26日に開催された第5回法人設立準備会で法人の組織や就業規則案、給与規程案、平成20年度の法人の予算案等が協議されました。

また、3月中旬に総務大臣から「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構」の設立が認可される予定となっていることが報告されました。

4月1日の新法人発足当日は、「日本海総合病院」で発足式が予定されています。いよいよ「日本海総合病院」「日本海総合病院酒田医療センター」が新しく開院します。

【シャトル車両の運行について】

本紙3月1日号でお知らせしたとおり、新病院の開院に合わせて両病院間の無料のシャトル車両（10人乗り。車いす1台乗車可能）を、下表の時間で運行します。

なお、3月17日から同時刻で試験運行を予定しています。

利用できる方／同じ日に日本海総合病院と酒田医療センターを受診する方（乗車する際に診療予約券または診察券を提示してください）。

途中での乗降はできません）

乗降場所／日本海総合病院（現県立日本海病院）正面玄関バス停付近／酒田医療センター（現市立酒田病院）正面玄関入口前

◆初診の受付時間は両病院とも午前11時までとなっていますので、ご注意ください。

【運行時刻表】

日本海総合病院 酒田医療センター (現市立酒田病院)	日本海総合病院 (現県立日本海病院)	日本海総合病院 (現県立日本海病院)	日本海総合病院 酒田医療センター (現市立酒田病院)
8:30	8:45	8:55	9:10
9:20	9:35	9:45	10:00
10:10	10:25	10:35	10:50
11:00	11:15	11:25	11:40
11:50	12:05	12:15	12:30
12:40	12:55	13:05	13:20
13:30	13:45	13:55	14:10
14:20	14:35	14:45	15:00
15:10	15:25	15:35	15:50
16:00	16:15	16:25	16:40

統合再編Q&A

問 1月10日に評価委員会が開催され、中期目標の審議が行われたとのことですが、その中で病院の職員の人件費比率を、全国の黒字の自治体病院を参考に目標を設定するとの報道がありました。現在、市立酒田病院、県立日本海病院ともその平均を上回っているとのことですが、すぐに職員の給料を下げることになるのですか。

答 設立団体である県と市が指示する中期目標に基づき、地方独立行政法人が4年間の中期計画を立てます。材料費や経費の節減に努めるとともに、病床利用率を高め、収益増を図ったり、業務内容の見直しを行いながら、その目標に近づけることとなります。現在のところ、職員の給与水準を下げることは予定されていません。

問 独立行政法人になると柔軟な運営ができると言われていますが、具体的にはどう変わりますか。

答 医療を取り巻く環境変化のスピードが年々早くなっています。病院がそれに迅速に適応してい

うとしても、これまでは条例上職員の定員の管理や財務管理上の制約によって実現が出来ない、あるいは実現に時間がかかっている現状にあり、環境の変化に即応して経営を改善することが難しい面もありました。独立行政法人になると、それらの点についても迅速に対応が出来ると考えています。

問 独立行政法人の責任者は誰ですか。民間に近いということなら倒産もありますか。

答 責任者は理事長で、多くの権限を持ち、柔軟な病院運営を行います。設立団体である県と市が、法人に対して中期目標を指示するとともに救命救急センターの運営や高度医療など政策医療にかかる経費を運営費負担金として法人に交付します。法人は、健全な経営をすべく中期計画を作成し、両議会の議決を経た上で設立団体の長の認可を受け、病院を運営することになります。さらに毎年度評価委員会の評価も受けますので、そのような事態にはならないと考えます。